

# 2016年3月期第2四半期 決算説明会

カシオ計算機株式会社

2015年11月4日

**CASIO**®

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。  
従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

# 2016年3月期 第2四半期連結決算概況

CASIO

①

単位：億円

連結	2015/3月期 第2四半期累計	2016/3月期 第2四半期累計	前年比 増減額
売上高	1,600	1,740	+140
営業利益	158	216	+58
利益率	9.9%	12.4%	-
経常利益	164	217	+54
当期純利益	104	154	+50

経常利益、当期純利益ともに過去最高記録

## 時計

- 高機能アナログウォッチ（G-SHOCK, OCEANUS, EDIFICE）の売上拡大
  - ・GPSハイブリッド電波ソーラーウォッチ（G-SHOCK:GPW-1000、OCEANUS:OCW-G1000）
  - スマートフォン連携Bluetoothウォッチ（EDIFICE:EQB-510）の販売好調

## デジタルカメラ

- 独自ハイエンド商品拡大により安定した利益確保
  - ・TRシリーズ（自分撮り）の高価格帯持続と売上拡大
  - ・撮影した画像を自動でスマートフォンに転送できるモデル（EX-ZR1600、EX-ZR3000、EX-ZR60）の販売好調

## プロジェクター

- 新製品XJ-V1導入成功による収益性大幅改善

# 2016年3月期決算予測

CASIO.

③

単位：億円

連結	2016/3月期			
	第2四半期 累計実績	下期計画	通期計画	前年比 増減額
売上高	1,740	1,960	3,700	+316
営業利益	216	284	500	+132
利益率	12.4%	14.5%	13.5%	-
経常利益	217	263	480	+101
当期純利益	154	176	330	+66

## 高機能メタルアナログウォッチの高価格帯製品強化

Global Time Sync

世界中どこにいても、常に正しい時刻を取得



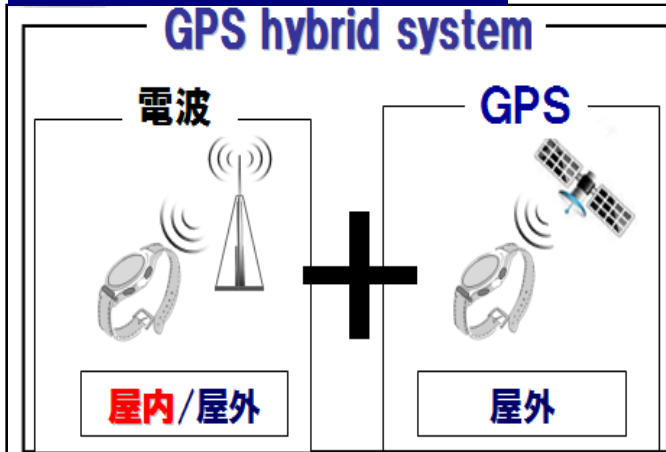
- G-SHOCKのメタルアナログウォッチ
- OCEANUSの高額新製品
- EDIFICEの核モデル



平均単価アップ及び販売拡大

### ■ 技術面の差別性

#### GPS hybrid system



電波とのハイブリッドにより、GPSの届かない屋内でも時刻修正

#### Smartphones Link



## 国内、海外高級時計流通への高価格帯製品導入拡大

### 流通戦略

#### ■高級流通の専用売場拡大



香港最大の高級時計店への導入



海外主力代理店とのミーティング

### プロモーション戦略

#### ■世界32のハブ空港での広告展開



世界中で活躍するビジネスマン  
へ需要喚起

## ◆楽器 電子ピアノの高価格帯市場への参入

C.ベビュタイン社と共同開発した音源を搭載した高価格帯電子ピアノ  
“CELVIANO Grand Hybrid”シリーズの投入

### 商品戦略

CELVIANO Grand Hybrid



音色、鍵盤、弾き心地など全ての面において  
グランドピアノの性能を追求

### 流通戦略

CELVIANO Grand Hybridで  
未参入の高価格帯市場へ参入

- 高級楽器店の展開強化
- 音楽大学へのアプローチ



## ◆関数電卓 ローカライズ商品の販売拡大

カシオのノウハウである学校ルート販売体制をASEAN等で新規立上げにより、未開拓の海外販売拡大

## ◆英語・英会話学習ツール: 社会人向け英会話学習ツールの新ジャンル商品投入

英語のストーリーを楽しく  
「**聞いて学ぶ**」  
デジタル学習ツール



Joy study 9月より発売し、実販好調

■英会話学習ツール売り場の拡大

- 1) 新製品XJ-V1が下期もさらに販売拡大
- 2) XJ-V1の独自技術を活用した付加価値の高い  
ラインアップの拡充→高輝度モデルXJ-V2(12月発売)
- 3) 金額も前年比約2倍に拡大することにより、  
さらなるコストダウン効果で収益貢献



下期は収益に貢献

2018年3月期

売上:5,000億円

営業利益:750億円(15%)

## 時計事業を第1の柱として 中長期的に安定成長を目指す

■売上拡大(2,000億円超)

■時計メーカートップの収益性  
営業利益500億円(利益率25%)

## 時計事業と並ぶ第2の柱として 教育事業の拡大

- 売上1,500億円、営業利益150億円
- 新規事業による教育市場への貢献  
2.5D プリンター
- 革新的なジャンルの創造
- 学校販売ルート強化の海外展開

2018年3月期 売上5,000億円 営業利益750億円

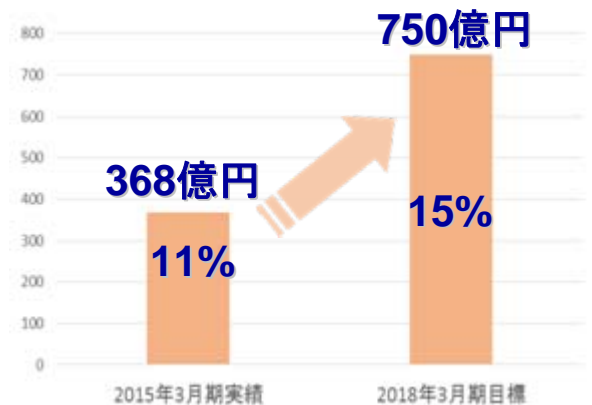
## 方針

- 1) 時計事業を第1の柱として安定成長
- 2) 時計事業と並ぶ第2の柱として教育事業の拡大
- 3) 資本コストを上回る企業価値の創出  
ROE20%台、積極的な株主還元

## 売上



## 営業利益



# セグメント別売上・営業利益

CASIO

<ご参考>

単位:億円

連結		2016年3月期		
		第2四半期 累計実績	通期計画	前年比 増減額
売上高	コンシューマ	1,489	3,105	+234
	システム	210	490	+82
	その他	41	105	+1
	合計	1,740	3,700	+316
営業利益	コンシューマ	249	535	+64
	システム	▲9	10	+67
	その他	▲2	0	+2
	調整額	▲22	▲45	0
	合計	216	500	+132

END